

校訓
平和・自律・創造

三 中 三
学校だより

令和7年1月8日発行
つるぎ町立半田中学校
校長 手塚 博也
第 11 号



一年の計は元旦にあり

～ 充実した一年にしていきましょう ～

【3学期始業式（校長講話より抜粋）】

あけましておめでとうございます。新しい年が始まりました。

新しい年には目標を立てると思います。校長先生は、もう目標を立てました。

「一年の計は元旦にあり」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。いろいろな説がありますが、戦国武将である毛利元就が語ったと言われています。物事は最初が肝心という意味です。

皆さんはどんな目標を立てるのでしょうか。勉強の目標でしょうか、友達関係の目標でしょうか。どんな目標を立てるとしても、大切なことは「少しでも前へ進む」ことです。去年の自分よりも、少しでも前へ進む目標を立てましょう。

では、どのように目標を立てればよいのでしょうか。よくある目標が「～頑張る」です。「勉強を頑張る」とか「部活動を頑張る」などですね。悪くはないのですが、この「～を頑張る」では、目標を達成できたのか、できていないのか、分かりません。だから、できれば数字で目標を立てるとよいと思います。

例えば、「漢字を毎日100個書く」、「社会科の教科書を毎日10分読む」、「素振りを毎日300回」、「筋トレを毎日30回×3セット」などにすれば、達成度が明確になります。

さて、目標を立てたものの、上手くいかないことがあります。その時に大切なのは、「人のせいにしてはいけない」ことです。校長先生にもそういうことがあります。立てた目標が上手くいかない時に、「人のせい」にしたくなります。勉強や部活動の目標を立てたけれど、「お母さんが勉強しなさいと言うから、勉強する気にならなくなった」とか、「お母さんが家の手伝いをしろと言うから、部活動ができなかった」などです。このように、人のせいにしたくなりますが、人のせいにする、目標はいつまで経っても達成できません。

それよりも、「自分のせい」にした方がよいです。上手くいかないのは自分のせいで、「どうすれば上手くいくかを考えていく」ことが大切です。

そして、目標が上手くいっているときは、感謝の気持ちを忘れないでほしいです。立てた目標が上手くいっているのは、もちろん自分が頑張ったことも大きいですが、家族や友達など、周囲の人たちの応援や協力があったからかもしれません。しっかりした目標を立てて、人のせいにならないで、感謝の気持ちを持って目標しっかり見続ければ、今年が充実した一年になると思います。

